

令和元年度・第27回総会開催

眼差しを持って若い人を育てていく

信州名匠会(土本俊和会長)は6月27日、令和元年度(第27回)通常総会と記念講演会を、長野市のホテル犀北館に46人が参加して開いた。総会では、平成30年度事業・会計報告、令和元年度事業計画・予算を承認した。

総会の冒頭、土本会長(信州大学教授)があいさつ。「平成、そして令和となり、子どもが少なくなっていく時代。我々は眼差しを持って若い人を育てていくことが使命と感じている」と話した。

講演会では、長野市伝統環境保存審議会の相原文哉会長を講師に招き、社寺建築の彫刻の意味と美しさ、込められた思いなどについて学んだ。

総会の会場では、平成30年度第7回研修会「松代のお花見・見学・陶芸教室」(4月6日)に参加した17名の陶芸作品が展示された。故・村越久子先生の雪しろ窯で長年続いた陶芸教室を引き継ぎ、松代での開催は5年目となる。茶碗や湯飲みをはじめ様々な個性あふれる作品の出来栄を、会員みんなで観賞した。



会員や来賓などが参加して開かれた総会



あいさつする土本会長

平成30年度 信州名匠会 年間スケジュール

A 会員集会・委員会 B 学習・見学・実習 C 交流 カッコ内は担当委員会

令和元年

- 6月26日(水) 第27回通常総会・講演会・懇親会(総務)
- 7月31日(水) 第1回研修会A・C(総務・事業技術)
- 8月24日(土) 第2回研修会B(事業技術)
- 9月10日(火) 親睦スポーツ大会C(会員)
- 10月19日(土)~20日(日) 研修旅行B・C(事業技術。協力：総務・会員)
- 11月16日(土) 第3回研修会A・C(総務・会員)
- 12月19日(水) 第4回研修会B(事業技術)

令和2年

- 1月22日(水) 新年会C(会員)
- 2月19日(水) 第5回研修会A・B(総務・事業技術)
- 3月18日(水) 第6回研修会B(事業技術)
- 4月18日(土) 第7回研修会「お花見」C(会員)
- 5月23日(土) 第8回研修会A・C(総務・会員)
- 6月25日(木) 令和2年度通常総会(総務)

研修会 場所：基本会場(駒宮本忠長建築設計事務所 第2会場(株)降幡建築設計事務所
時間：18:30~20:30 委員会の企画内容により異なる場合があります
※研修内容・場所・日時については決定次第順次お知らせいたします。

令和元年度通常総会
講演会

「社寺建築の彫刻 匠の技と心」

長野市伝統環境保存審議会
会長 相原文哉氏

総会で毎年行われる講演では、長野市伝統環境保存審議会の相原文哉会長が「社寺建築の彫刻 匠の技と心」というテーマで登壇した。

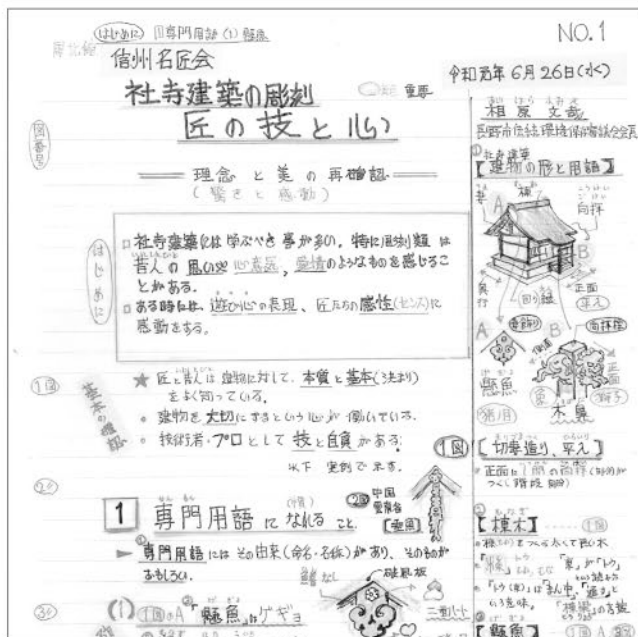
相原氏はまず「社寺建築には学ぶべきことが多い。特に彫刻類はいにしえ人の思いや心意気、愛情のようなものを感じることがある」と指摘。「ある時には遊び心の表現、匠たちの感性・センスに感動する」と講演をはじめた。

「匠といにしえ人は建物に対して『本質』と『基本』をよく知っている」という相原氏は、「専門用語にはその由来があり、その由来そのものが面白い」とし、「懸魚（げぎょ）」の命名と形に込められた防火の願いや、「木鼻（きばな）」の衣装に秘められた阿吽（あうん）の形、鳥や昆虫、想像上の生物としての犀（さい）に顕れた阿吽の表現、手水舎（てみずしゃ）に見える水に関する意匠と伝説の生き物の配置の意味など、さまざまな例をお手製のレジュメ（写真）で細かく紹介した。

また「古建築には驚くべき技が施されている」として、柱や意匠の見える様を、錯覚を用いて大小・広狭の補正をしている例などさまざまな例について、イラストを用いて紹介。「古社寺建築には発見の楽しさがある。匠やいにしえ人からのメッセージを受け取る面白さを感じてほしい」と締めくくった。



講演する相原氏



当日の資料として配られたカラフルで詳細なイラスト満載のレジュメ（一部）を付けます。こちらをご覧ください、当日の内容の振り替わりとなれば幸いです



三十ツ星1名、二十八ツ星2名など30名の新認定者が誕生 ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。今年は新規認定者30名（認定者総数80名）が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

◆「スリースター制度」平成30年度新規認定者

（令和元年6月現在、敬称略。紙幅の関係で新規認定者のみ掲載いたします）

☆☆☆三十星1名☆☆☆
坂田 守夫/坂田工業(株)

☆☆☆二十八ツ星2名☆☆☆
堀 誠/建築工房アカシヤ
西澤 嘉雄/(有)エヌ設計

☆☆☆二十ツ星1名☆☆☆
西澤 広智/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆十九ツ星1名☆☆☆
中村 光敬/(有)中村木工所

☆☆☆十七ツ星3名☆☆☆
犬飼 栄治/(株)シナノ大理石
白石 大陸/サンコー特機(株)
吉田 雅彦/(有)スタジオスペースツ

☆☆☆十四ツ星2名☆☆☆
高梨 友秀/(有)高梨建設
増田 幸雄/匠建設(株)

☆☆☆十一ツ星1名☆☆☆
海野 政也/(有)海野鉄筋工業所

☆☆☆十ツ星1名☆☆☆
宮澤 郁夫/宮澤建築

☆☆☆九ツ星3名☆☆☆
内田 保/朝陽工芸(有)
落合 一視/落合コンサルタント
米田 満/(株)山二

☆☆☆七ツ星1名☆☆☆
黒澤 忠/クロサワメタル(株)

☆☆☆六ツ星1名☆☆☆
荒井 孝明/(株)本久

☆☆☆五ツ星1名☆☆☆
宮本 夏樹/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆四ツ星4名☆☆☆
山崎 慎一郎/(株)山崎屋木工製作所
内田 悠斗/(株)新建新聞社
祢津 吉通/(株)ミツルヤ製作所
北澤 徹/(有)北澤ステンレス工業

☆☆☆三ツ星2名☆☆☆
中村 研哉/(株)宮本忠長建築設計事務所
笠原 佑晃/(株)二見屋

☆☆☆二ツ星3名☆☆☆
金田 勝良/(有)金田工業所
堀内 太一/(有)泉秀園
中沢 清光/(有)エヌテック

☆☆☆一ツ星3名☆☆☆
本澤 篤/(株)マナテック
齊藤 昌彦/(株)角藤 長野本部
本荘 奎菜/(株)宮本忠長建築設計事務所

平成30年度 事業報告 (人数は参加者)

平成30年

- 6月27日(水) 第26回通常総会・講演会・懇親会
「たくみ」No.42 夏号 発行
- 7月26日(木) 第1回研修会 降幡廣信先生のお話
「民家再生と国際コンペ受賞の報告」 28名
- 8月21日(火) 親睦ゴルフ大会 長野カントリークラブ 9名
- 9月19日(水) 平成30年度第1回理事会「平成30年度研修旅行について」 ★?名
- 9月29日(土)～30日(日) 研修旅行「京都の旅～松殿山荘・平等院・ロームシアター京都・廣誠院」 31名
- 10月26日(金) 第2回研修会 「リレートーク(防水工事 シーリングのTPO)」 坂田守夫氏・齊藤大助氏・白井健氏 23名
- 11月18日(日) 第3回研修会「海野宿滞在型交流施設 うんのわ」見学会 土本俊和会長 21名

12月22日(土) 第4回研修会「松田家住宅斎館」見学会 西澤嘉雄氏 29名

平成31年(令和元年)

- 1月24日(木) 新年会 ホテル犀北館 35名
- 1月24日(木) 「たくみ」No.43号新年号発行
- 2月23日(土) 第5回研修会「塩尻市北部交流センター」見学会 嶋本耕三氏 38名
- 3月20日(水) 第6回研修会「リレートーク(空調設備の歩み～快適環境と省エネ)」 本澤篤氏・寺田彩香氏 18名
- 4月6日(土) 第7回研修会 「松代のお花見・見学・陶芸教室」 西澤嘉雄氏 17名
- 4月11日(木) 平成30年度 第一回理事会「令和元年度信州名匠会総会について」 12名
- 5月25日(土) 第8回研修会「信州花フェスタ2019」見学会 勝山敏雄氏・堀誠氏・堀幸一氏 22名

平成30年度 会計報告書

自：平成30年6月1日／至：令和元年5月31日

会員の動向 (平成30年6月～令和元年6月。敬称略)

■入会■

高橋 志行／大工／(株)むね工房／長野市大字穂保246番地2／026-214-2305
 村山 俊文／躯体工事／(有)村山建設工業／千曲市大字屋代3202番地2／026-272-1398
 藤松 幹雄／建築設計／藤松建築設計室／松本市開智1-5-13／0263-33-5421

■担当者の変更 賛助会員■

齋藤木材工業(株) 前任)坂田 典之 新任)齋藤 潔

■退会 個人会員■

中島 重雄／中島建築
 中村 泉／(有)ピーイング
 寺島 隆／大伸鉄工業(株)

■退会 賛助会員■

竹内 公夫／(株)ビフォームテクノクリエート

懇親ゴルフコンペ 左右田 光氏が初優勝

スポーツを通じ会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが、長野カントリークラブで行われた。台風の後、晴天に恵まれ、かなり暑い日となったが、仕事を忘れ和気あいあいゴルフを楽しんだ。

今回は、例年より多い15名の参加となり、競争の激しい中、今回初めて参加した左右田氏が見事優勝された。

プレー後のパーティーでは、坂田専務理事から各賞が渡され、ベテラン・若手プレーを振り返りながら親睦を深めるひとときとなった。

参加者は次の通り(順不同、敬称略)

左右田光／(株)インテック左右田、坂田守夫／坂田工業(株)、齋藤昌彦／(株)角藤、増田幸雄／匠建設(株)、高橋志行／(株)むね工房、北澤徹／(有)北澤ステンレス工業、荒井孝明／(株)本久、小坂浩一／小坂建設(株)、五明良平／(株)五明、落合一視／落合コンサルタント、鎌倉良収／(株)鎌倉木材、山崎慎一郎／(株)山崎屋木工製作所、山田一忠／インテリア販売ヤマダ、宮本夏樹／(株)宮本忠長建築設計事務所、西澤広智／(株)宮本忠長建築設計事務所



坂田守夫氏 黄綬褒章を授章

当会専務理事で坂田工業前代表取締役の坂田守夫氏(74)は、今年5月黄綬褒章を受章した。道一筋に精励し模範となる人に贈られる褒章。防水施工の坂田工業社長、会長として、約半世紀にわたり、県内の美術館や企業の社屋などの安全安心を守ってきた。「現場での丁寧な仕事が、サビやひび割れが数十年出ない建物を生む。現場での仕事ぶりはどこにも負けない」。「この職業に誇りを持てる労働環境に」と正規雇用を進め、「職人は一生勉強だ」と若手の資格取得を励ましてきた。



定例研修会●Report

(令和元年5月～11月)

平成31年度 第8回研修会 【信州花フェスタ2019「信州リビングガーデンエリア」見学会】

令和元年5月25日(土)

講師:建築工房アカシア 堀 誠氏(当会理事)、堀 幸一氏

かつやま建築工房 勝山 敏雄氏

参加者:22名

コンセプトは「信州の風景をとりこむ」

5月の第8回研修会では長野県松本平広域公園で開催された「信州花フェスタ2019」の「信州リビングガーデンエリア」を中心に見学を行った。このエリアでは県内企業による長野県産木材

を使用した木造建物3棟の展示がされており、その中の1棟である炭平コーポレーション棟で、設計監理を担当したかつやま設計工場の勝山敏雄氏、施工を担当した当会会員の堀誠氏と堀幸一氏に建物のコンセプトや特徴について説明をいただいた。



設計を担当した勝山氏(右隅)の説明を聞く

建物としては構造材や内外装材に北相木村産のカラマツと杉を使用し、天井は木と鋼材によるハイブリッドトラスとすることで特徴的な空間を実現している。断熱材には木質系のエコボードを使用するなど自然素材にこだわった建物となっていた。信州の風景をとりこむというコンセプトのとおり、建物両側の木製建具を開けると建物の内部と外部が一体となり、信州の爽やかな風が通り抜ける。軒下のウッドデッキでは多くの来場者が腰を下ろし、寛ぐ姿が見られた。



建物全景 ふんだんに信州の木材が使われている

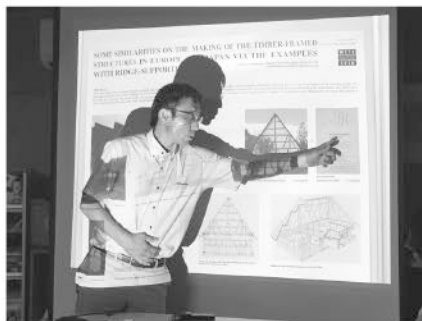
令和元年度 第1回研修会 【土本先生のお話「世界の棟持柱を追う調査」を研修】

令和元年7月31日(水)

講師:土本 俊和氏(当会会長・信州大学工学部教授)

参加者:23名

土本先生が「棟持柱」を語る



地球を駆けめぐるフィールドワークの成果を語る土本先生のお話、興味は尽きない

令和元年度 第一回の研修会は、本会会長の土本先生から「棟持柱」をテーマにお話しいただいた。

歴史的な木造建築の一典型であり、日本建築で代表的な形とされる棟持柱だが、この

構造について「伊勢神宮や仁科神明宮など神社建築だけでなく、さまざまな形で、世界各地で見られる」とし、スライドとともに世界の事例を紹介した。その射程は、近くは茅野市にある寒天蔵から、海を渡って韓国・ソウルの寺院、台湾、インド、さらにアジアを離れオーストラリアの民家園、ついにはユーラシアを飛び出してメキシコまでと縦横無尽だ。土本先生は、時にジョークを交えつつ、時に風土や旅情を伝えながら、日本だけでなくアジア、ヨーロッパ、さらには北米、南米など、先生が自ら足を運び発見した「棟持柱」をレポートした。

加えて「『インドに棟持柱がある』という話はないが、行ったらそこかしこにあった」とし、インドでの生木を使った棟持柱構造や、さらには木でなく石を使った棟持柱構造の写真も提示するや、会場からは驚きの声があがった。

棟持柱構造の原形について、またその伝播、そして変容といった姿をわかりやすく、また面白く紹介したお話となった。



令和元年度 第2回研修会 【「県立武道館」現場見学会】

令和元年8月24日(土)

講師：(株)環境デザイン研究所 会長 仙田 満氏

(株)宮本忠長建築設計事務所 副設計長 加藤 健太郎氏

参加者：31名



大屋根が周囲の風景と重なる正面外観

大屋根など設計の妙を見る

第2回研修会では、佐久市の県立武道館の現場見学会を実施した。佐藤一竹花組特定JVの佐藤克志工事長から工事の進捗や概要などの説明を受けながら現場を回った。

見学前には土本会長が「大屋根が周囲の風景と重なる設計が見事」と武道館を紹介すると、続けて環境デザイン研究所一宮本忠長建築設計事務所JVの仙田満会長が「建物はRC造とS造がメイン。しかしW造も尊重した建物を伝えられれば」「主道場の大屋根はSとW造のハイブリッド県産材を使いながら日本の伝統を残す。天井は高さがあり、コンサートなども行えるように多目的に使える」「武道は体幹が大事。武道館も中心に柱(廊下)を持ち、回遊性を持たせた」などポイントを説明。参加者らは両氏の言葉を参考に見学した。

同武道館は今年度2月に供用開始を予定。国体をはじめ各種武道大会の開催のほか、武道以外の他のスポーツやコンサートなど文化活動、さらには災害時の地域の避難所、佐久地域の「物資拠点」などの利用を想定し整備を進めている。



仙田氏の説明を聞きながら内部構造を見学

令和元年度 第3回研修会 【会員の仕事場拝見 中村木工所】

令和元年11月16日(土)

講師：中村 光敬氏(当会会員)

参加者：17名



県外一流ホテルのフロントに設置される組子を前に設営する中村氏(中央)

繊細な木製組子の世界を学ぶ

第3回研修会では、「会員の仕事場拝見」と題し、建具の職人の中村光敬氏(中村木工所)の工房を訪れた。中村氏の案内で、木製組子の制作現場を見学し、実際に組子細工を体験した。

制作現場では、現在制作中で、県外一流ホテルのフロントに設置される組子について話しを聞いた。制作している組子は、全13枚で並べると高さ2.4m・幅1.6mの規模。中村氏は「ひとつひとつの部品は機械加工が中心だが、残りは手作業」といい、「数ミリ寸法が違うだけでも組付けができなくなる」「湿度の管理も大切」などと留意点を説明した。制作期間は6カ月で、1カ月で3枚前後をつくるペースだという。



花狭間の作品を持つ中村氏

工房内にある、花狭間(はなざま)と呼ばれる組子を見学。組子に花模様の透かし彫りを施したもので、中村氏は「銀閣寺(京都府)や大笹原神社(滋賀県)などに設置されているものと同じ柄」と紹介した。

組子細工の制作体験では、中村氏の指導のもと、胡麻柄の



組子細工の制作体験に熱中する参加者

組子コースターを組み立てた。参加者は悪戦苦闘しながらも、童心に戻ったように無我夢中でつくっていた。